横浜天声キリスト教会　週報　第15巻5号(No.521)　2020年2月2日

礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　ローマ8:1-2 ・・・・・・　御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・　20番 いざやともに
*交読文 ・・・・・・・・・・・・・・・・　51番
*使徒信条 ・・・・・・・・・・・・・・会衆一同
*頌栄 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・　172番　雨をふりそそぎ
礼拝のための祈り ・・・・・・・成田エクレシア:浪川執事　天声:小林 伝道師
聖餐式 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・　281番　しみもとがも
メッセージ ・・・・・・・・・・・・・・滅びの法則は、キリストのいのちの法則で対抗せよ(エステル記8章)
御言葉を適用する祈り ・・ 会衆一同
賛美 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・　451番　力のみ神よ
献金感謝の祈り ・・・・・・・・ パスター
報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・
*主の祈り ・・・・・・・・・・・・・・ 会衆一同
*祝祷 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ1:1、マタイ3:17、17:5)
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ10:10)
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ10:10)
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

____は恥に代えて、二倍のものを受ける。____は侮辱に代えて、その分け前に喜び歌う。それゆえ、その国で二倍のものを所有し、とこしえの喜びが____のものとなる。(イザヤ61:7)
こういうわけで、今や、肉に従ってでなく御霊に従って歩んでいるキリスト・イエスにある____は、罪に定められることがない。(ローマ8:1)
しかし、____は、選ばれた種族、祭司の国、聖なる国民、神につける民である。それによって、暗やみから驚くべきみ光に招き入れて下さったかたのみわざを、____が語り伝えるためである。____は、以前は神の民でなかったが、いまは神の民であり、以前は、あわれみを受けたことのない者であったが、いまは、あわれみを受けた者となっている。愛する____たちよ。____は、この世の旅人であり寄留者であるから、たましいに戦いをいどむ肉の欲を避けなさい。異邦人の中にあって、りっぱな行いをしなさい。そうすれば、彼らは____を悪人呼ばわりしていても、____のりっぱなわざを見て、かえって、おとずれの日に神をあがめるようになろう。(1ペテロ2:9-12)

メッセージ概要

主から大きな恵みを頂いて、大きく用いられる性質とは何か。エステル記から引き続き恵みを得たい。
モルテガイを木にかけようとしていたハマンは、逆にその木に彼が架けられ、ハマンの家は王妃エステルに与えられ、ハマンが握っていた王の指輪(実印)は、そのままモルデカイに渡された。(エステル記8:1-2)
まさに、私達が満たしていない良い物が満ちた家を得させ、私達が掘ったものでない井戸を得させ、私達が植えたものでないぶどう畑とオリーブ畑を得させて下さる、という御言葉の通りである。(申命記6:11)
主は、時間と空間を支配し、主を求める人々には、素晴らしいタイミングで助けを送り、主に敵対する者には、その報いをされ、こうして主は、主の民を特別扱いして下さる事を世界に示し、栄光をあらわされる。

ハマンは死に、モルデカイは支配の実印が渡され、ハマンの家も与えられたが、まだ一件落着ではない。このままでは、ハマンが定めた神の民を滅ぼす日・12月13日に、モルデカイもユダヤ人も殺されてしまう。そこでエステルは、この今だ有効な「滅びの法令」を取り消してもらうため、再び王に直訴した。しかし王が言うには、メド・ペルシヤの法令は、一度発布してしまったら消す事は出来ない。だから、ハマンが定めた「滅びの法令を打ち滅ぼす法令」を新たに定め、王の名で実印を押し、有効化させなさい、と言った。
天の法令も、メド・ペルシヤの法令と同じように、一度発布されたら、取り消せない。人は罪を持っているなら、必ず死ななければならない、という天の法令は、決して取り消す事ができない。
ハマンは最初、ユダヤ人を殺害し、その富を分捕ろうとしたが、サタンも同じ目論見をした。サタンは人を妬んでそそのかして、罪へと陥れ、死と呪いを招いた。罪を犯した人は必ず死ななければならないが、憐れみ深い神は、それに対抗する法令を発布された。すなわち、私達の罪の身代わりとなって、木に架けられ、死なれたイエスキリストを信じる者は、その信仰によってサタンに勝利し、罪は帳消しにされ、滅びを免れ、神の子としての特権と栄誉が与えられる。主は、この素晴らしい「いのちの御霊の法則」を制定された。
ローマ8:1を、ギリシヤ語原典(TR)から訳すと、「こういうわけで、今や、肉に従ってでなく*御霊に従って歩み続けている(現在形分詞)キリスト・イエスにある者は、罪に定められることがない。*」である。
サタンが定めた罪と死の法令に対し、何も対策を実行しないままでは、そのまま死の法則が遂行されてしまう。だから私達は、勝利者であるキリストに留まり続ける事、いのちの御霊の法則に乗り続ける必要がある。すなわち、自分の思い・意思・感情は脇に置き、御言葉であるキリストご自身である御言葉を優先させる。そうすると、自分の資質や能力、努力などによるのではない、キリスト由来の、力ある「法則」が動き出す。
飛行機に乗るなら、重力の法則を打ち負かして飛行して行くように、キリスト・イエスにあるいのちの御霊の法則に乗るなら、罪と死の法則を打ち負かし、死をいのちへと飲み込んで行くのである。主は、滅びの法則に束縛された私達に、人の資力によらぬ、キリストのいのちの法則による解放を与えて下さったのだ。

モルデカイは次の法令を発布した。すなわち、ユダヤ人の敵は残らず根絶やしにし、その家財を分捕って良い、という法令を。(9-11節)　その良き知らせが、早馬によって世界中に告げ知らせられた。
同じように今、イエス・キリストが定めた勝利の良き知らせ、すなわち福音(エウァンジェリオン)が、世界中に届けられつつある。キリストはサタンを打ち破り、圧倒的に勝利し、サタンの家財を、大いに分捕って良い、という、勝利の良き知らせ(福音)は、今、全世界に告げ知らされ、私達はその使者となっている。
しかし法則は、ただ単に知っているだけでは、効力は発動されない。ハマンが定めた法令に対抗手段を講じず、そのまま置いていたなら、やがて滅ぼされてしまっていたように、日々迫り来る罪や死、病や困難に対し、何の対抗手段を講じなければ、やがて滅ぼされてしまう。私達は日々迫り来る罪や死は、イエス・キリストの名によって拒否し、イエスにつく者として、勝利を宣言し、そして、信じた通りに行動するのだ。
モルデカイは栄誉が与えられ、青白の王服と金の冠を身に帯びて、王の前から出てきた。(15節)
同じように私達も、王族の祭司の特権と栄冠が与えられ、王として統べ治めるのだ。(1ペテロ2:9)
だから今、私達は主イエス・キリストが定めて下さった、いのちの御霊の法則に、しっかり根ざすべきだ。
サタンは一度、罪と死を人類に導入し、人類はそれに何ら対抗できなかったが、しかし今や主イエス・キリストが勝利し、彼にあって堂々と対抗できるようになった。私達は彼にあって必ず勝利し分捕る事が出来る。この法則に従って、勝利の内に歩む皆さんでありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝	賛美 10:30	礼拝 11:00
食事/フェローシップ		12:30～
English Service		14:00～

日々の集会

月～金	早天祈祷会	5:00～
火・木・金	賛美と祈りの集会	13:00～
火～木	夜の祈祷会	19:30～

水曜礼拝

1 部	13:00～
2 部	19:30～

金曜徹夜祈祷会 21:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 15 巻 5 号　　2020 年 2 月 2 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX： 045-326-6211
Homepage： http://voice.of.christ.yokohama/
email： ephes_03-tensei@ yahoo.co.jp

YouTube